


令和8年度 牧野小学校 グラウンドマップ

チーム牧野で漕ぎ出す、新たな学びの海へ

牧野小学校 校長



楽しく力いっぱい、
夢に向かって進む
子どもの育成



知りたい、
やってみたい、
伝えたいと
学ぶ子ども



自分も友達も
大切にする
子ども



あきらめずに
続けられる
子ども

学校経営の基本哲学：「相似形」の法則

大人の環境は、そのまま子どもの環境に直結する。

教職員が
大切にされる環境

教職員の
心の安定・
欠けない職場

同僚性のある、
助け合える
教職員集団



「教室＝職員室」
子どもが大切にされる
環境 (人権尊重の基盤)

不登校児童の減少・
子どもの安心

子どものサインに
気づく・
いじめ見逃しゼロ

「逃げない校長」であること、そして「守る盾」としてのルール

誰一人欠けない1年へ

(教職員が心身ともに健康で1年間を終えることを最優先します)

ウェルビーイングの保障

(大人の笑顔が、子どもの笑顔を創ります)

困難には「共に」立ち向かう

(困難な保護者対応や地域の課題は、決して現場に丸投げせず、校長が先頭に立ちます)



服務規律の再定義

- 学校のきまり = 児童のより良い成長のためにある
- 服務規律 = 教職員のより良い生活(心身の安全)を守る盾

令和8年度の針路：5つの重点的な取組事項



心の教育の充実・
食育の推進と
安全管理の徹底

(枚方市教育振興基本計画：基本方策2：
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実)



「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の
一体的な充実

(枚方市教育振興基本計画：基本方策1：
確かな学力と自立を育む教育の充実)



いじめ・不登校支援の
徹底、発達支持的
生徒指導の推進

(枚方市教育振興基本計画：基本方策7：
学びのセーフティネットの構築)

(枚方市教育振興基本計画：基本方策7：
学びのセーフティネットの構築)



服務規律の徹底・
業務改善と
意識改革の推進

(枚方市教育振興基本計画：基本方策3：
教職員の資質と指導力の向上)

(枚方市教育振興基本計画：基本方策3：
教職員の資質と指導力の向上)



地域と共にある学校づくり
と特色ある教育の推進

(枚方市教育振興基本計画：基本方策6：
社会に開かれた学校づくりの推進)

枚方市教育委員会の指針と、牧野小学校の行動の連動

枚方市教育委員会の指針



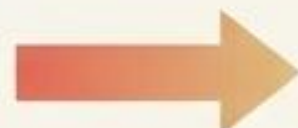
【枚方市 基本方策2】
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実



【枚方市 基本方策1】
確かな学力と自立を育む教育の充実



【枚方市 基本方策7】
学びのセーフティネットの構築



【枚方市 基本方策3】
教職員の資質と指導力の向上



【枚方市 基本方策6】
社会に開かれた学校づくりの推進



牧野小学校の行動



【牧野の取組(1)】
心の教育の充実・食育の推進と安全管理の徹底



【牧野の取組(2)】
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実



【牧野の取組(3)】
いじめ・不登校支援の徹底、発達支持的生徒指導の推進



【牧野の取組(4)】
服務規律の徹底・業務改善と意識改革の推進



【牧野の取組(5)】
地域と共にある学校づくりと特色ある教育の推進

豊かな心体と、新しい学びのカタチ（重点事項1&2）



学びを止めないセーフティネット（重点事項3）

いじめ・不登校支援の徹底と、発達支持的生徒指導



組織的対応の徹底：
些細な変化を見逃さず、
学校いじめ防止対策委員会
を中心に迅速に動く。

発達支持的生徒指導：
すべての児童の自己指導能
力を育成する、予防的かつ
前向きな指導。

教育相談体制の充実：
スクールカウンセラーや「ぽー
ち」等のICTを活用した気持ち
の視覚化とSOSの早期発見。

持続可能な学校運営と、地域との絆（重点事項4&5）

業務改善と 意識改革



働き方改革の推進：
教職員の事務負担を軽減し、
子どもと向き合う時間を
最大化する。



心理的安全性の確保：
対話を重んじ、互いに学びあう
風土の醸成。

余白の創出

地域とともにある 学校づくり



社会に開かれた教育課程：
学校運営協議会等の活性化に
よる「チーム学校」の実現。



地域資源の活用：
学校応援団ポータル（Hirakata
EduAction）や地域人材を
活かした特色ある教育。

孤立を防ぐ推進体制：「チーム牧野」



令和8年度 牧野小学校 グランドマップ

学校教育目標：楽しく力いっぱい、夢に向かって進む子どもの育成

めざす子ども像：
・知りたい、やってみたい、伝えたいと学ぶ子ども
・自分も友だちも大切にできる子ども
・あきらめずに続けられる子ども

大人の環境 = 子どもの環境



教職員も、児童も、ウェルビーイングな学校へ。
この目標に到達するためには、まず大人が心身ともに豊かであることが不可欠です。
誰一人欠けることなく、チーム牧野で新たな未来を拓きましょう。